

一般質問

質 問 者	渡田工周	伏見	山之内	北関	辻人	河原	福飯岡	久保田	周東	恒一	忠英	辺島	渡田	恒一	(日本共産党議員団)
	新園	木田	之内	関口	人見	井賢	島英	部純	裕	一人	雅達	藤井	田	一	(いちえ)
	園	木	之内	関口	人見	井賢	島英	部純	裕	彦夫	達基	井田	木	一	(クラブ21)
	伏	木	之内	関口	人見	井賢	島英	部純	裕	博	基	木	木	一	(桐政会)
	山	木	之内	関口	人見	井賢	島英	部純	裕	雄	康	木	木	一	(創志会)
	山之	木	之内	関口	人見	井賢	島英	部純	裕	肇	康	木	木	一	(市民の風)
	北	木	之内	関口	人見	井賢	島英	部純	裕	久	直	木	木	一	(公明クラブ)
	関	木	之内	関口	人見	井賢	島英	部純	裕	久	直	木	木	一	(創志会)
	辻	木	之内	関口	人見	井賢	島英	部純	裕	久	直	木	木	一	(日本共産党議員団)
	人	木	之内	関口	人見	井賢	島英	部純	裕	久	直	木	木	一	(いちえ)
	河	木	之内	関口	人見	井賢	島英	部純	裕	久	直	木	木	一	(創志会)
	原	木	之内	関口	人見	井賢	島英	部純	裕	久	直	木	木	一	(クラブ21)
	福	木	之内	関口	人見	井賢	島英	部純	裕	久	直	木	木	一	(桐政会)
	飯	木	之内	関口	人見	井賢	島英	部純	裕	久	直	木	木	一	(市民の風)
	岡	木	之内	関口	人見	井賢	島英	部純	裕	久	直	木	木	一	(桐政会)
	久	木	之内	関口	人見	井賢	島英	部純	裕	久	直	木	木	一	(市民の風)
	保	木	之内	関口	人見	井賢	島英	部純	裕	久	直	木	木	一	(公明クラブ)
	田	木	之内	関口	人見	井賢	島英	部純	裕	久	直	木	木	一	(公明クラブ)

※氏名の後のカッコ内は所属党派名

12月20日(火)・21日(水)の2日間にわたり、18人の議員が一般質問を行い、市政に関する問題について、市当局の見解を求めました。

給付制奨学金

渡田 恒 (日本共産党議員団)

質問 全国では学生を始めとした若者による給付制奨学金の創設を求める動きがある中、桐生市においても、市長に284人の署名を添えた陳情書が提出された。これをどのように受け止めるか。

答弁 若い人たちの声として、大変重く受け止めている。

学生が安心して学べ、夢と希望が持てるような奨学金制度ということで、給付

型だけでなく、使いやすい奨学金制度というものを視野に入れながら、桐生ならではの制度として総合的に検討していきたい。

田島 忠一 (いちえ)

質問 ゾーン30はどのような経緯で実施されてきた事業なのか。

答弁 警察庁が新たな生活道路対策として全国的に推進しているもので、生活道路や通学路における事故を防止するため、歩行者の通行を最優先に考え、指定した区域内の生活道路を最高速度30キロに規制し、また路面標示や路側帯の設置、拡幅等を行い、交通安全対策を講じて事故を減らす事

ゾーン30



(ゾーン30)

業である。今後も群馬県警察本部、桐生警察署等関係機関と連携して生活道路における「ゾーン30」対策の更なる推進に努めたい。

無料入浴券の拡充

工藤 英人 (創志会)

質問 現在、ひとり暮らしで65歳以上の高齢者に月(高齢者無料入浴利用券)



3枚年間36枚の無料入浴券を交付しているが、この券の利用者が増えれば、高齢者が外出することで元気になることも銭湯にとっても利用者が増え、市内銭湯の継続経営につながると考える。この事業をより充実させ拡大することについて市の見解は。

答弁 今後、民生委員、地域包括支援センター等による広報活動や広報きりゅうなどを用いてより多くのひとり暮らし高齢者の方の利用を促進し、生きがいの増進を図っていきたい。

市役所の職場環境

周藤 雅彦 (クラブ21)

質問 職員が健康で働けることは、より良い桐生市を作るうえで重要なことの一つと考えているが、現在職員が健康に働けているのか。

答弁 市長から「いい仕事をするためには、職員は常日頃から健康に留意し、明るく元気であることが大事である。」との指示があり、職員はこの指導を念頭に仕事に取り組んでいる。心身ともに健康で明るく元気に

仕事することは社会人として基本であり、引き続き、職員への指導・徹底を図るとともに、より良い職場環境づくりに努めたい。

(桐生市役所)



ふるさと桐生応援寄附金

新井 達夫(桐政会)

質問 市ホームページに掲載されているふるさと桐生応援寄附金の活用方法について、より具体的に寄附金の使途を示したほうが良いと考えるが、市の見解は。

答弁 現在の寄附金活用メニューは、やや抽象的な表現で示しており、実際どのような事業に活用されるのかが分かりづらい面がある。当市が実施する事業への賛同者を増やし、寄附者の増加につなげていくた

めには、事業を具体的に明示して寄附を募るという手法が有効であると考えており、新年度の寄附金募集に向けて方策を検討している。(市ホームページ)



市役所周辺の回遊性向上

園田 基博(創志会)

質問 市役所周辺は厚生病院や立体駐車場、シルク



(市役所周辺)

ホールがあり、集約拠点として非常に大切と思うが、人口減少、高齢化社会に対応した、歩いて暮らせるまちづくりの観点から、今後どのように進めていくのか。

答弁 市役所周辺の整備は、市民文化会館建設に伴い、周辺道路や歩道整備、電線類地中化などを実施した。その後、押しボタン式の横断歩道の新設など、一定の整備が完了している。今後、やさしいまちづくりの視点を踏まえ、利便性や安全性の向上について、総合的な観点から研究する。

新桐生駅のバリアフリー化

山之内 肇(公明クラブ)

質問 市内で東京に直結している路線の玄関口とも(新桐生駅)



言える新桐生駅のバリアフリー化は、市民たつての願いであり、観光誘客の面からも喫緊の課題である。具体的には駅構内のエレベーター設置が必要と考えるが、実現に向けた市の取り組みは。

答弁 現在、県と連携し駅周辺整備事業に取り組んでいるが、駅構内のエレベーター設置については、駅前広場に合わせた一体的に整備できるように東武鉄道などと協議を行っている。今後も設置できるように関係機関と調整を図っていきたい。

高齢者の自動車事故防止

北川 久人(創志会)

質問 高齢者のブレーキとアクセルの踏み間違えによる事故を防止するため、衝突被害軽減ブレーキシステム搭載車の購入補助金を導入する必要があると考えるが、市の見解は。

答弁 現在、国ではトラックやバスについて衝突被害軽減ブレーキの搭載が義務化され、減税も行われており、さらには乗用車への拡充も検討されている。当市においては、今後の国の

(交通量の多い道路)



動向や群馬県及び県内他市の状況なども確認しながら、市の交通政策全般において多面的に検討しなければならぬと考えている。

自治会制度

伏木 康雄(市民の風)

質問 来年で自治会制度となつて10年目を迎えるが、(桐生市役所)



制度改正に対して強く新しいメッセージを市民の皆様が発する準備はあるか。

答弁 自治会制度に移行し来年で10年目を迎え、その間様々な課題を抱える中で自治組織を運営されてきた役員や地域の皆様に敬意を表し感謝する。自治組織はそれぞれの地域に暮らす人々が幸せに暮らしていくために必要不可欠な地域共同体であるので、今後も市民の声を大切にし、自治組織の自主・自立性の確立に向けて市としてふさわしい支援のあり方を検討したい。

福祉用具利用状況

関口 直久(日本共産党議員団)

質問 要支援1から要介護2までの福祉用具の利用状況は。

答弁 福祉用具貸与の車椅子、介護ベッド、住宅改修の平成27年度における要支援1から要介護2までの利用実績の実人員は、要支援1の車椅子は6人、介護ベッドは8人、住宅改修は114人、要支援2の車椅子は16人、介護ベッドは12人、住宅改修は86人、要介護1の車椅子は53人、介護

ベッドは69人、住宅改修は139人、要介護2の車椅子は240人、介護ベッドは463人、住宅改修は88人という状況となっている。(車椅子)



中央共同調理場の改築

辻 正男(いちご)

質問 中央共同調理場は築47年が経過しており、平成22年度事業仕分けにおいても改善となつている。その事を踏まえ、改築についての考えは。

答弁 事業仕分けの結果を受け、庁内検討委員会を立ち上げ、改築について検討を行ったが、具体的な建設候補地や事業手法などは結論に至らなかった。

現在、調理場の改築計画について、これまでの検討

の結果や成果、経緯を踏まえ、近年整備した他自治体の調理場施設の状況や、整備方法、運営方法等を参考に検討している。

(学校給食中央共同調理場)



キッズバレイ

人見 武男(創志舎)

質問 今後の展開と自立化の見通しは。

(東武桐生本町ビル)



答弁 今後は女性の力を生かした創業を一層推進するとともに、在宅就労支援などにより新たな形での仕事創出を図っており、当局としても積極的に支援していきたい。また創業支援活動で創出した創業者にインキュベーションオフィスで専門家が指導し企業成長を支援するなど、創業支援の核である東武桐生本町ビル全体の連携を強化していきたい。また自立化に向けて収益性の見込みのある事業の育成などの取り組みを支援していきたい。

ごみ減量の効果について

河原井 始(クラブエ)

質問 介護保険料の減額やごみ減量は、市民の総力

(桐生市役所)



を結集すればできると考える。例えば、ごみ排出量を100とした場合、市民の力で10%削減できれば、削減分を市民の力によるものと評価し、削減できたことにより得た費用を介護保険料の増加分に充当して上げ幅を抑えるといったごみ減量の効果による費用で介護保険料の上昇を抑制することについて市の見解は。

答弁 今後十分研究する必要があるが、実現すれば市民との協働によるまちづくりを進める上で意義深いものと認識している。

白瀧神社の観光情報発信

福島 賢一(桐政会)

質問 白瀧神社の観光情報を更に発信し、神社周辺

(白瀧神社)



のインフラを整備することで、地域の活性化、にぎわい創出といった相乗効果が期待できると思うが、市長の見解を伺いたい。

答弁 織物のまち桐生を語るには白瀧神社、白瀧姫は欠くことのできない重要な観光、歴史資源であると認識しており、ぐんまちゃん家、サロン・ド・Gなどで桐生を宣伝するときには、白瀧神社の観光情報も発信している。また、インフラ整備については、これから現場の状況を見ながら積極的に整備していきたい。

産業廃棄物最終処分場問題

飯島 英規(市民の風)

質問 城の岡団地周辺の産業廃棄物最終処分場の異臭は、暑い時期の夜間など、臭いが家の中に入ってくる

事態が続いている。市として住民の気持ちと寄り添うという視点で、定期的に対話をしていたいただきたいと考えるが、市長の考えは。

答弁 住民の方々から直接お聞きし、状況の深刻さと早急に解決しなければならぬという必要性を感じている。住民との対話

についても、必要があれば随時行いたい。また、担当部局には、しっかりと住民に寄り添うようにという指示も出したい。

(桐生市役所)



空き家解体費補助制度

岡部 純朗(桐政会)

質問 空き家を解体する費用に対し、補助金を支給する考えは。

(市内の空き家)

答弁 老朽化した空き家の解消に向けた対応としては、日々、所有者に適正な管理をお願いしている。

しかし、どうしても改善が進まない空き家もあり、解体費に対する補助制度が特に管理不全空き家の解消を促進するための有効な施策の一つと考えられることから、国や県に対し、解体

費補助制度について、強く要望している。今後、国や県の動向、他自治体の状況などを見据えながら補助金の制度について検討したい。

(市内の空き家)



桐生市ホームページに「政務活動費(収支報告書)」及び「行政視察報告書」を公開

平成12年の地方自治法改正による政務活動費(当初は政務調査費。平成25年に改称)制度創設以来、桐生市議会では、その透明性の確保と適正な運用に努めてきておりますが、さらにその透明性を高めるため、政務活動費の収支報告書をホームページで公開することになりました。

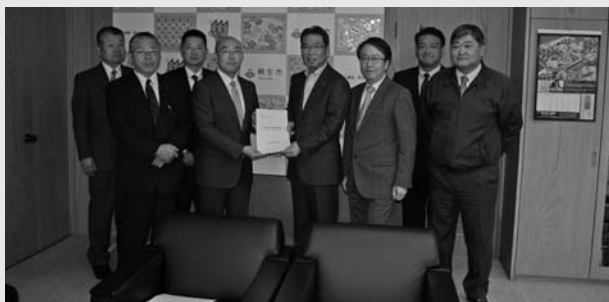
また、3常任委員会、2特別委員会及び議会運営委員会が行った行政視察についても、それぞれの行政視察報告書をホームページで公開することになりました。桐生市議会22人の議会活動をぜひご覧ください。



第24期桐生市議会議員

経済建設委員会による提言書の提出

経済建設委員会は、桐生商工会議所から要望を受けた19項目の1つである「桐生市住宅取得応援事業の継続」について、平成28年7月27日から平成28年10月28日までの間に合計11回の委員会等を開催し議論した結果、「桐生市住宅取得応援事業の継続に関する提言書」として意見がまとまりましたので平成28年10月28日に桐生市長に提言書を提出いたしました。提出した提言書については、桐生市ホームページから閲覧できます。



亀山市長に提言書を提出する委員

骨髄移植ドナー

久保田 裕一(市民の風)

質問 県では骨髄ドナー提供による経済的損失を軽減

(桐生市保健福祉会館)



減するため、今年度からドナーへ助成を行う市町村に對して2分の1を補助する制度を導入し、入院及び通院に要した日数1日につき上限2万円、上限7日間支給することでドナー登録者の増加を図っているが、当市での今後の助成実施の可能性は。

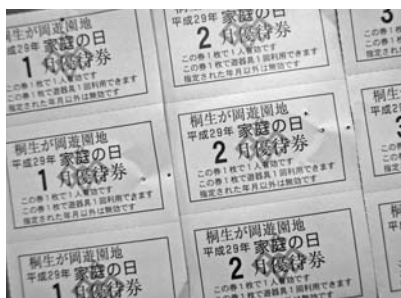
答弁 当市においては、県の動きに対応し、登録普及のために安心して提供できる環境づくりが必要と考えられることから、新年度での事業実施に向けて現在検討中である。

無料優待券の年度利用

周東 照二(公明クラブ)

質問 桐生が岡遊園地事業の無料優待券は、現在月単位であるが、それぞれ家族の状況もあり、月ごとに1人3枚使用できる月単位の利用は難しく、全体として使用率が低い状況である

市民の声を反映し、年間1人36枚の配布は継続しつつ、月3枚と月ごとに使用期限を区切るのをやめ、年間を通して使用できる年度単位に変更することを提案するが市の見解は。



答弁 使用率が低い状況を考えて改善する必要があると捉えているので来年度の桐生市青少年問題協議会で審議していきたい。(桐生が岡遊園地優待券)

委員会提出議案

桐生市議会基本条例の一部を改正する条例案を可決

災害時において、市民の生命、財産及び生活を守り、議会機能を維持するとともに、市長等を支援するため、議会における災害対応の組織の設置や行動基準等の根拠となる規定を定めるための条例案が合併及び地域政策調査特別委員会から提出され、審議の結果、可決されました。